

去る11月25日、「保育園給食調理業務委託提案についての集会」を開催しました。

去る11月25日午後7時より、サンパール荒川で、「保育園給食調理業務委託提案についての集会」を開催しました。企画から開催までの期間が短かったにもかかわらず、保護者、職員、一般区民など90人近くの方が集い、今回、区から出された保育園給食調理業務委託の提案に対して、疑問や不安など、多くの熱っぽい意見が交わされました。集会の様子をお知らせします。

今回の集会を機に、「保育園給食を考える荒川区民の会」は署名活動、陳情書の提出など、さらに具体的な活動を行います。

児童福祉課からの説明

<p>荒川区職員労働組合(以下「区職労」)への説明</p>	<p>委託の目的：食育の推進・給食内容の充実のため。非常勤栄養士を配置し、アレルギー対応、除去食を5歳児まで拡大するために委託する。 なぜ0歳児園なのか：<u>調理員6名の職員が減り見合う・委託業者のための休憩室とトイレを別にできるという施設的な条件も満たしている。</u></p>
<p>保育現場職員への説明</p>	<p>委託の目的：10月13日、子どもが午睡中に説明がある。時代の流れでシステムを変え、<u>保育園のコスト削減に、もっていかなければならない。</u> 今までどおりに実施できるの？：工夫しだいである。内容は仕様書に書く。</p>
<p>該当保育園保護者への説明会の状況と感想</p>	<p>保護者説明会が行われたが、保護者の質問に対して児童福祉課の明確な回答がされず、時間切れとなり、2回目の説明会開催。2回目の説明でも1回目と同様時間切れとなり、今後、3回目の説明会が開催される予定。2回の説明会とも、2時間30分の時間がかかった。 <u>児童福祉課長は、給食調理業務委託のメリットだけの説明で、「デメリットはない」とのこと。</u>また、委託を実施する目的が理念だけで、どうして委託が必要なのかという説明がなかった。 委託になれば人件費は安くなるが、保護者は「安い人件費で、離乳食など細かい内容まで対応できるのか」が疑問である。コスト削減を一番大切な子どもから行うというのは、区の「子育て支援」の方針から考えておかししいし、納得できない。 <u>三河島保育園では、父母の会の中に、給食問題対策委員会を立ち上げた。</u>今後、要望書を提出する予定。</p>
<p>該当保育園以外の保育園保護者への説明</p>	<p>「平成 18 年 4 月より、2 保育園で給食調理業務が委託される」旨の<u>チラシが配布されたのみ。</u></p>

### 調理現場から調理員さんからの発言

衛生管理面ではとても気をつけている。荒川区の区立保育園では、今まで食中毒を出したことがない。これは当たり前だけれど、当たり前を努力で続けている。

子ども達は朝から調理室を楽しそうにのぞいている。  
私たちは、給食を作るだけではなく、保育の一環として調理を考えている。遠足、防災訓練なども一緒にしている。他の職員と協力して、布団しき、給食を作る以外の仕事もしている。

委託は、民間だから悪いと言っているのではない。コスト削減のシステムとして委託があり、そのしわよせが、子ども達にかかることがいけないのだと思う。

### 「学校給食 SOS」の I さん

荒川区内ではすでに小学校、中学校が給食委託になっている。業者が変更になった際に、調理業務の支障を防ぐため、調理員にそのまま残ってもらうという対応をとった学校もある。「委託ってなんだろう」と考えさせられる。

給食の質という点だけでなく、委託して本当にコストが下がるのかという観点からも検証し、学校給食とも一緒に運動を展開する必要がある。

# 発言・意見

### 他区で既に給食調理業務が委託されている保育園に勤めている職員さんからの発言

数年前に給食委託になった。委託になると現場の声は聞いてくれない。

委託業者は低賃金で重労働なので、パート、バイトが多く、チーフであっても入れ替わりが激しい。重労働なので給食を作る時、調理員さんはけんか腰になっており、さながら戦場のようで、見ていてもひやひや。

**委託になって給食が変わったことは・・・**

給食が決まった時間に出てこない

アレルギー食や、メニューの間違が多い

早く盛り付け終わっている。夏などは食中毒が心配になる。仕様書には「30分前の盛り付け」とあるが、随分前に盛り付けられている。食中毒にはならなかったが、一度腹痛などの症状で休む子どもが多いことがあり、職員が一軒一軒訪問し、検便した。

ジャガイモの芽もついたまま出されるなど、調理が子どもの食に合っていない。

非常勤の栄養士は配属されたが、委託前と変わったことはない。

異物混入が多くなった。輪ゴム、金たわしの破片、クギなど。

一度、委託の調理員さんが全員来ないことがあり、職員が手配し作り1時間遅れで提供したことがある。

### 荒川区父母の会連絡会会長

介護保険の施設で経費節減のため、給食をアウトソーシングした。最初は品数も多くおいしかったが、そのうち品数が減り、味も落ちた。若い栄養士とパートの調理員がいるが、けんかが多く、栄養士はやめた。

委託業者が収入を確保するには食材の質を落とすか、人件費を減らすしかない。

介護保健施設は法律でチェックがかかるが、今回の提案ではチェックはどうなるのか。年度の半ばにこのような提案の仕方は性急過ぎ、おかしい。じっくり検討して進めるほうが良いと思う。

### 区議会議員の S さん

民間委託には反対している。今回の提案は、人員削減が背景にある。いま、区全体のいろいろなことで委託が進みすぎて、逆に危機感を感じている人もでてきている。保護者の不安を伝えていくことが大切。

### 区議会議員の S さん

児童福祉課は、内部検討の結果説明もなく、議会に突然、委託を提案してきた。「子どもにとってどうか」ではなく、委託しやすいところからやることは、おかしい。

### 区議会議員の S さん

委託したことで、給食の質が落ちてしまうことはよくない。学校給食の評価はどうなっているのか。

## 給食調理業務の委託って何？

現在保育園では、保育士、看護師、調理員、用務員らが協働して子どもの保護と保育を担っています。給食業務の委託とは、その調理員の業務だけを、民間業者にまらると任せることです。区の決めた仕様書に書かれた仕事を業者が落札して、その業務を請負います。

	直営	委託
子どもの体調が悪い時には・・・	<p>はな組のBちゃんが、下痢気味なので、体調が悪いので、食事を少し軟らかく目にしてほしい場合。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">保育士・看護師</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">給食調理員</div> <p>保育士、看護師、調理員が連携して、給食を作ります。</p>	<p>はな組のBちゃんが、下痢気味なので、体調が悪いので、食事を少し軟らかく目にしてほしい場合。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">保育士・看護師</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">園長先生</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">委託業者</div> <p>委託業者への指示は園長を通じてしかできなくなります。子どもの体調を一番把握している看護師や保育士が委託業者に直接指示することができないため、子どもの体調にあわせた、臨機応変の対応がしにくくなります。</p>
雇用採用	<p>公務員として、採用されます。人数は、区で決められています。</p>	<p>人数は仕様書で決められます。委託業者が採用しますが、入れ替わりが激しいようです。</p>
調理員の教育	<p>調理員は、衛生面などの教育を受けています。</p>	<p>委託業者に任せられます。</p>



署名にご協力ください。メールアドレスにご連絡いただければ、署名用紙をお送ります。

## 保育園給食調理業務の委託に関する要請

今年10月末に区から、ひぐらし保育園と三河島保育園の給食業務を民間業者に委託するという突然の通知がありました。委託の開始は平成18年4月1日からという非常に切羽詰まった状況での提案であるうえ、委託対象の2園は0歳児受入れ園でかつ延長保育実施園です。すなわち離乳食対応と延長食の提供のため、食に対する繊細かつ熟練した対応が必要な上、提供回数が多いという調理者の力量が真に問われる園でもあります。

配布された説明資料によると、区としては公立保育園全園を対象に次々と委託を実施する計画のようです。11月初旬に「給食の見直しについてのお知らせ」が全園に対して配布されましたが、配布だけでは、かえって不安が募るばかりです。まず、今回の委託計画の全体像の説明を、公立保育園全園の利用者に対し実施してください。

保育園に通う0歳児から就学前の子どもたちにとって、給食は食や育ちに大きな影響を与えるものです。離乳食、アレルギーへの対応、体調の変化の激しい乳幼児期にはきめ細やかな対応が必要です。今回の委託計画は学校給食の業務委託導入時のような、区民や専門家が加わっての審議会もなく、突然提案されました。このような一方的かつ拙速な提案方法では、果たして子ども達の食の安全が守られるのか非常に不安です。給食業務委託がサービス向上を目的とするのであれば、計画を延期しても、利用者の意見を反映し取り入れる対応をしてください。

保護者の願いは、子ども達が安全・安心な環境のもと、心身ともに健全に成長していくことにあります。生活の中で重要な「食」を子ども達にとって、よりよいものにするために上記のこの実現をお願いいたします。

2005年 月 日

荒川区長 西川 太一郎 様

名 前	住 所

保育園給食を考える荒川区民の会 代表者 筑本知子  
連絡先 E-mail:hoikuen-kyushoku@chikuchans.com

**「保育園給食を考える荒川区民の会」は動き始めました。  
多くの皆様のご参加をお待ちしております。**

### 「保育園給食を考える荒川区民の会」再結成の経過

平成17年11月9日に開催された、「自治研究集会」で、保育園給食業務委託の提案について、職員や保護者から不安の声が多く出されました。

区からの急な提案であったため、保育園給食委託については大変不安が大きく、緊急に検討する会を設ける必要があることが、保護者から提案されました。

その後11月12日に有志が集まり、「保育園給食を考える荒川区民の会」を再度結成しました。

### 「区民の会」今後の予定

平成17年12月

荒川区議会各会派に陳情のお願いに行きます。

平成17年12月～平成18年1月ごろ

保育園給食調理業務委託について、地区別集会を開催します。

今後の会の活動についてはホームページでもお知らせいたします。

<http://www.chikuchans.com/hoikuen-kyushoku/>

